

令和7年度北上市市政座談会  
～きたかみまちづくりトーク「WAになって話そう」～in 相去

## 報告書

日時 令和7年8月26日（火） 午後6時から7時まで

場所 相去地区交流センター

参加者 地域参加者：25名

市出席者：13名 ※他事務局等7名

### グループトークテーマ

- ①：協働のまちづくりと市立大学についてどう思いますか？
- ②：あなたは高齢となったらどのような暮らしをしたいと思いますか？
- ③：相去の農業を守るために、あなたにできることは何ですか？
- ④：あなたは自治会というコミュニティに求められるものは何だと思いますか？
- ⑤：空き家を使用できたら、あなたなら何をしてみたいですか？

---

### ①グループ

- ・大学の設置について、不安があるのであまり賛成できない、財政を心配しており、子どもや孫の代に負担をかけたくない、北上市は工業のまちなので、色々な問題をクリアしたうえで実現が可能なら実現してほしい、将来的には、大学があっても良いのではないかと思うが、財政面は心配、良いことだと思うがだんだん廃れないように慎重に進めてほしい、などの意見があった。
- ・学生を呼び込む戦略などが必要で、優秀な学長や教授陣が重要なのではないかという話が出た。学生の確保や財政負担の心配をする声が多く、市民に丁寧に説明してほしいという意見が出された。
- ・少子化についても話題となり、北上市で安定して子育てができる、生活ができるまちにしていかなければならないという思いが共有された。

### ②グループ

- ・高齢となったときの暮らしについて、仕事を続けていきたいと思っている、可能な限り自立した生活がしたい、困難になったときに地域や行政のサポートがあると良い、いまと同じように地域で交流していけるのか不安、若者と一緒に住めるようなしくみがあると良いと思う、などの意見が出された。
- ・車が運転できなくなった際は、公共交通が少しでも便利な場所に移り住みたい、バス以外の手段もあると良い、バスを待つ習慣もつけていかなければならない、など様々な意見が出されました。
- ・人とつながり持つことの大切さも共有され、地域外の集まりの方が参加しやすい人もいる、集まると面白いということ伝えていく必要がある、農作業での交流、「食」を通じた交流、男女が一緒に楽しめる交流の場などアイデアがたくさん出された。

### ③グループ

- ・地域の農業について、農地が放棄地にならないようにできるだけ受け入れたい、後継者がいないことが課題になっている、地産地消を意識している、農地の価格が上がれば、農業の価値も上がるのではないかと考えている、相去地区には若い農業者も多いので応援したい、等の意見が出された。
- ・農地を買うデメリットが大きい、農地の貸し借りはどちらも大変、地目によって交付金が左右される等の意見もあった。また、売買が難しい農地を集約化すること、地域でグループをつくって農業を進めていくこと、小規模農家への支援が今後とても大切になってくるという意見が多く挙げられた。
- ・後継者問題は、行政だけでなく、各家庭や地域全体で考えたい、機材や資材が高騰している中、購入する側でも適正な価格を大切にしたいという感想もあった。

### ④グループ<市参加者：危機管理監>

- ・自治会の役割について、地域の環境整備、共助、それぞれの得意分野を伸ばせる体制、人づくりや未来づくりなど様々な意見が出され、活動内容なども共有された。また、自治会に入らない人も増えており、共助の大切さを理解してほしいという意見もあった。
- ・知らない人が近所に住んだり、外国人が大勢で空き家に住んでいると不安になるという話が出た。知らない、言葉が分からないと排除するのではなく、交流を持つことで外国人でも転入者でもお互いを知ることができ、安心にもつながるので、地域で交流する機会を持ちたいという意見が多く挙げられた。
- ・顔の見える関係をつくる、地域体制の弱い部分を見直していく、子どもたちに魅力ある地域活動を行っていくなど、これからの相去地区の地域活動について前向きな考えが共有された。

### ⑤グループ<市参加者：都市整備部長>

- ・空き家の活用について、漫画やテレビ、音響機器などを設置して、気軽に誰でも立ち寄れる交流施設にしたい、文化的な空間にしたいなどの意見があった。また、近所に放置された空き家があり、管理をどうしていけば良いか分からない、子どもたちが集まる場所の近くにもあるので危険が無いかが気になる等、放置された空き家の管理に不安を覚えるという意見もあった。
  - ・北上市の空き家状況について市出席者から説明があり、空き家の把握や空き家バンクについて情報提供があった。
  - ・畑付きの空き家があった場合、家庭菜園をするために利用したい、空き家を住むためではなく、物を置く小屋として活用できれば良いという意見もあり、空き家と農地を合わせた情報提供ができれば良いという意見が挙げられた。
-

# グループトークの様子



**相去地区の皆さま  
たくさんのご参加ありがとうございました**